

大阪・関西万博における 児童生徒の遠足の中止に関する申し入れ

日本共産党姫路市会議員団は、4月14日、久保田智子教育長に対して、大阪・関西万博における児童生徒の遠足に関する申し入れを行いました。

姫路市では、小学校66校、中学校33校、義務教育学校3校、市立高校3校、特別支援学校1校がありますが、万博に参加予定の学校は、小学校3校、中学校2校、市立高校1校となっています。

4月13日から、万博は始まっていますが、メタンガスによる爆発の危険性はもちろんのこと、会場内には風雨をしのげる屋根がほとんどないなど、初日から多くの課題が明らかになっています。このような場所に、学校行事として子どもたちを引率していくことは、たいへん問題だと考えます。

「朝は、何時に出発予定なのか。下見はできているのか。」など質問しましたが、「学校行事なので、各学校の判断に任せている」との回答しか返ってきませんでした。必要に応じて、万博参加校に対して、「注意喚起」するよう強く求めました。



姫路市教育長 久保田 智子 様

2025年4月14日
日本共産党姫路市議団
団長 谷川 真由美
小田 響子

大阪・関西万博における

児童生徒の遠足の中止に関する申し入れ

4月13日から大阪・関西万博が始まっています。4月6日に実施された「大阪・関西万博」のテストランにおいて、重大な安全上の問題が確認されました。

昨年ガス爆発のあった西エリアにて、元消防士である守口市議会議員の寺本氏が持参したガス検知器で、屋外電気設備の地下ピットを測定した結果、爆発下限値である5vol%を超えるメタンガスを検知し、消防に通報しました。

万博協会側も基準値を超える数値を確認したことから、来場者等への立ち入りを規制し、地下ピットの蓋を開放して自然換気を行い、基準値内に低下させる措置を取りました。

そもそも、夢洲は現役の廃棄物処分場であり、夢洲1区ではこの間、83本のガス抜き管から1日あたり約1.5から2トンのメタンガスが発生しており、今後も同様の事態が発生する可能性があります。

このような危険な場所に、学校行事として、子どもたちを引率していくことは、たいへん問題だと考えます。

以上のことから、以下の点について強く求めます。

記

要望内容

1. 学校を通じ児童生徒及び保護者に対し、これらの事態について周知すること。
2. 学校行事として「万博遠足」の実施を中止し、その趣旨を児童生徒及び保護者に周知すること。
3. 以上の内容を姫路市ホームページ及び広報に掲載すること。

以上